

平成24年度社会貢献プロジェクト

スーパーサイエンスリーグによる未来の科学者の育成

～卓越した児童・生徒をさらに伸ばす試み～

生物学類・物理学類・化学類・地球学類（代表 生物学類長 濱健夫）

SSリーグとは

生物学類、物理学類、化学類、地球学類は「Super Science リーグ～めざそう未来の科学者～(SSリーグ)」として、未来の科学者の育成を行っています。

目 的	高い意欲や能力を有する小中高校生は日本各地に散見されるが、その能力に見合った高い水準の学習機会を十分に受けることができず、才能の芽を伸ばし切れていない。素晴らしい自主研究を行っている児童・生徒を適切に評価し、その分野の専門家が、生徒各自の研究をサポートすることにより、未来の科学者を育てていく。
特 徴	1.SSリーグ生それぞれの研究テーマに合わせた筑波大学教員と大学院生（学類生）を配置したきめ細やかな研究支援を行う 2.書類審査によりSS3生を約20名選抜し、一年間の研究を審査し、約10名をSS 2 生とし、その後、更に一年間の研究を審査し、数名をSS1生とする3つのリーグからなるリーグ制。SS1生は高校卒業まで研究を支援 3.書類審査によりSS3生を約20名選抜し、一年間の研究を審査し、約10名をSS 2 生とし、その後、更に一年間の研究を審査し、数名をSS1生とする3つのリーグからなるリーグ制。SS1生は高校卒業まで研究を支援
取組内容	SSリーグでは主にメールによって研究支援を行っている。メールはすべてSSリーグ生、大学（院）生およびサイエンスコミュニケーターを含んだメーリングリストを通してやりとりされ、各自の研究状況や支援状況を逐次把握する。 夏と冬に合宿形式の実習を行い、最先端の研究に触れさせるとともに、受講生同士の横のつながりを醸成する。 3月に昇格審査を兼ねたコンテストを行い、SSリーグ生は一年間の研究成果を発表する。
平成24年度リーグ生数	S S 1生：10名 S S 2生： 8名 S S 3生：15名
成 果	SSリーグ生は自然科学観察コンクールで文部科学大臣賞、日本学生科学賞で日本科学未来館賞受賞など全国で様々な賞を受賞

特徴

1. SS生1名につき大学教員1名と大学院生1名がはりつき、個人的にサポート
2. 審査によりSS3生→SS2生→SS1生を選抜していく3リーグ制
3. 大学施設を使っでの合宿型実習の開催



夏は菅平高原実験センターでフィールド実習

仲間や教員、TAと寝食を共にすることで、横のつながりを醸成



冬は筑波キャンパスで化学実験

様々な研究機関を訪れ、最先端の研究に触れる



3月17日に開催された「第2回つくば科学研究コンテスト兼茨城県高校生科学研究発表会」は500名以上の参加者が集まる

SSリーグ交流会には第1期生から第5期生までの50名余りが参加し、SSリーグ生としての絆を強めた



プレジデントファミリー 2012.12月号



NHKこんにちはいっと6けん 取材風景 2013.1.28放映

SSリーグは才能児教育プログラムとしての認知度も高まり、マスコミ掲載等も増えている